

学習プログラム開発をしよう

(A) グループ メンバー (瀬川, 新野, 安原, 木村, 勝見, 山本, 水田 (対象者))

テーマ

青少年教育 (新しい住宅団地(ニュータウン))

市の概要

B.

個人の要望

- ・体験・学習
自然・料理・伝統芸能・環境
- ・スポーツ・体力づくり
- ・仲間・つながり
- ・安心・安全と学ぶ・学習対象
- ・青少年活動の支援

社会の要請

- ・地域・家庭の連携
- ・自主的に活動
- ・活動の場を作る
- ・リーダー育成
- ・地域参加
- ・ボランティア育成

地域課題

- ・同じ地域に住む青少年の関係が希薄になっている
- ・中高生になると地域行事などに参加する機会が少なくなる

学習目的

- ・仲間意識が育つようにする
- ・地域を活性化させるために、青少年のリーダー育成をする

学習目標

- ・中高生が地域を知り、
- ・中高生が関心を持つことで、地域行事に自ら参加し、コミュニケーション力をつけ、つながりを深める。

(A) グループ メンバー (瀬戸・板野・富原・木村・勝見・山本・水田 (支援者))

1 学習目的

- 仲間意識が育つようにする。
- 地域を活性化させるために、青少年のリーダー育成をする。

2 学習目標

- 中・高生が地域を知り。
- 中・高生が関心を持つことで、地域行事に自ら参加し、コミュニケーションをつけ、つながりを深める。

3 プログラム名

PERFECT SUMMER 2014
～ 16歳の思い出はここから～

4 対象・定員

- 対象 (平成26年度に16歳に達する方)
- 定員 30名

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

夏まつり実行委員会お

6 事前に必要な知識や準備物

- 夏まつり実行委員会の資料 (写真他)

7 留意点

- 中学3年生の間に呼びかけしておく。
- 次年度には、支援者に写す。

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
① 5/25(日) 10:00 ~12:00	16歳 シンパはじまる	オリエンテーション 夏まつりに向けて役割り分担 る班 (踊り・出店・制作) ◎ 地区や行事と知り 自分達は何か 出来るかを考える。	夏まつり 実行委員	公民館	参加非紙 (人数・性別等) 〇7-7シート (分組別) 〇参加者へのアンケート
② 6/22(日) 10:00 ~12:00	16歳 匠になろう!	着付け・花報活動、盆踊り練習 ◎ 花報活動を始めよう。 着付け方を学び、浴衣を着こなすようにしよう。 盆踊りをマスターしよう。	〃	〃	〇学習支援者への アンケート 〇聞き取り 〇成果物(ゆり)
③ 7/13(日) 10:00 ~12:00	16歳 極める!	出店準備・打ち合せ (メニュー・試作) 試食) ◎ 段取りの作成 プレゼンテーションに向けての準備。	〃	〃	〇7-7シート 〇チェックシート (作業手順等)
④ 8/2(土) 15:00 ~19:00	プレゼン ~集い 16歳~	◎ 仲間づくり (プレゼン) (踊りや出店の説明 オリエンテーション (夏まつりに向けて))	〃	〃	参加非紙 (人数・性別・地域等) 〇意見交流 (参加者・支援者)
⑤ 8/5 当日	デビュー ~輝け 16歳~	夏まつり (実践) ◎ 自分達の計画してきた事か どと出来るか実践してみよう。	〃	小学校 グラウンド	〇写真 〇会計報告 〇目視(野鳥の会)
⑥ 8/23(土) 17:00 ~19:00	16歳 新たな挑戦	振り返り(交流) ◎ 杯に向けて、発進しよう!	〃	公民館	〇総合アンケート (参加者・支援者)

【各回の実施計画を立ててみよう!】

(A) グループ メンバー (瀬戸, 板野, 守原, 大村, 勝見, 山本, 水田(支援者))

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

プレゼンテーション ~ 集り 16歳 ~

○学習目標

集まりに参加してくれる16歳にたくさん集まってもらう。
自分達の企画を“カタチ”にする

2 回・日時・場所

○回・日時

第4回	8月2日(土) 15時00分~ 19時00分
-----	------------------------

○場所

公民館 (集習室・会議室, 和室)

3 講師, 指導者, 支援者

集まり実行委員会

4 準備物

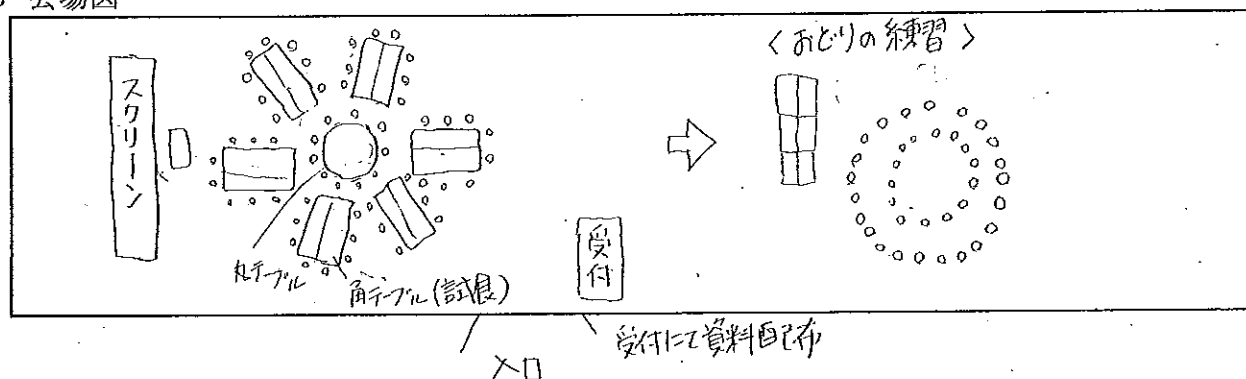
○参加者

ゆかた、虫店に伴う材料 (糸、針、かまごおり機、777マルチホルト)

○主催者

受付簿、ネーム、マジック、ゴミ袋、安全マニュアル、叔父箱、延長コード、音響、700シワターフリン 1000

5 会場図



6 実施計画

時刻	内容	留意点
15:00	準備 ・会場作り(会議室) ・試作(フックルト-及び氷)(実習室) ・浴衣着付け(和室)	・長机(14)・椅子(60) ・プロジェクト・パソコン ・普響一式
16:30	受付 ・資料配布	・受付(2) ・受付簿 ・資料
17:00	利エンション ・アイスブレイクを行い和やかな 雰囲気を作る ・班編成と自己紹介	・司会、説明(各1名) ・アイスブレイク(1) ・班制(6)
17:10	夏まつりの内容説明(DVD) パーフェクトサマー2014について説明	
17:30	試食-交流	・出店班(3)
18:00	会場整備	
18:05	踊りの練習	・踊り班(10)
18:25	諸連絡 夏まつりへの呼びかけ	
18:30	片付け	
19:00	終了	

学習プログラム開発をしよう

(B) グループ メンバー (小川さん 植田さん 藤原さん 熊川さん 三好さん 森さん)

テーマ **青少年教育**

市の概要
C

個人の要望

- ・ 地域のことを知りたい
- ・ 地域活動をする... 親子で地域活動に参加したい
- ・ 地域の文化を学ぶ機会
- ・ 楽しく遊べる場所が欲しい 安心安全
- ・ 友人と共に過ごす 居場所づくり
- ・ ボランティア活動
- ・ スポーツ体験
- ・ 自然体験

社会の要請

- ・ 健康で豊かな人間形成
- ・ 青少年が伸びやかに活動できる環境づくり
- ・ 地域で子どもを支える体制づくり
- ・ 家庭・地域の教育力の育成

地域課題

地域のつながりが希薄化する都市地域の方
つながりを作るための環境づくりをいかに

学習目的

家庭と住民、学校等が連携し、子ども子育て家庭などを
温かく見守り、地域で支えていく体制づくりや 意識啓発
活動展開に努める。

学習目標

- ・ 子ども達に豊かな体験を与えるため、地域住民の得意分野を
活かして、講師など様々な活動をしていく。
- ・ 家庭と住民、学校等のネットワークづくり。

(B) グループ メンバー (小川さん 植田さん 藤原さん 熊川さん 三吉さん 森さん)

1 学習目的

家庭と住民、学校等が連携し、子どもや子育て家庭などを
温かく見守り、地域で支えていく体制づくりや意識啓発
活動展開に努める。

2 学習目標

- ・子ども達に豊かな体験を与えるため、地域住民の得意分野を活かし講師など様々な
活動をしていく。
- ・家庭と住民、学校等のネットワークづくり。

3 プログラム名

キラリ☆ 地域「学び」びと、子ども応援塾 ▶ (夏祭り編)

4 対象・定員

青少年 (小学生) 定員 50名

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

材料費 (持ち帰り負担) 飲み物 (100円 個人負担)

6 事前に必要な知識や準備物

昔の写真、ビデオ 資料 キラリ音頭のCD、デジカメ、うちわの材料、作り方

7 留意点

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
第一回 6月中旬 土曜日 10:00 5 11:30	よこそ達人!! 地域の文化 を知らう!!	◎ 地域の文化伝統を知り、地域交流の 楽しさを見つける ① アイスブレイクと自己紹介 (10分) ② オリエンテーション 講座の目的や目標、日程を知る (5分) ③ 地域の講師の話をきく。 昔の写真などをみる。ビデオを見る。(45分) ④ 達人にその場で実演をみせてもらう(20分) ⑤ 達人に聞く!! 質問コーナー (10分)	地域の方 (キラリ地区保協会) (10名)	公民館	
第二回 7月上旬 土曜日 10:00 11:30	キラリ本馬舎!! 達人に学ぼう!! パートI	◎ 達人から踊りを学ぼう!! ① グループに別れ、保協会の方が付き、 (10人) (2人) 1つずつ踊りの動きを学ぶ。(20分) ② 休み。(10分)ドリフトタイム。 ③ グループ事に音楽に合わせて踊る(15分) ④ 全体で音楽に合わせて踊る(15分) ⑤ 次回に向けてオリジナルうちわの作成についての (おやつを食べながら) 話し合い (20分)	地域の方 (キラリ地区保協会)	小学校	
第三回 7月下旬 土曜日 10:00 5 11:30	さらにキラリ体験 達人に学ぼう!! パートII	◎ オリジナルうちわを作って夏祭り 盛り上げよう!! ① 前回のグループに別れる。(5分) ② うちわ製作。(60分) ③ 作ったうちわで踊りの練習 (15分) ④ 夏祭り当日に向けての打ち合わせ (10分)	地域の方 (絵筆紙カキ会) (キラリ地区保協会)	小学校	

いざ★
◎ 地域テレビ。ー!! 祭りたワンショイ!!

第四回
8月上旬
19:00

みんな達人!!
みんな(キラリ★)

◎ 集合!! 祭りの進行の確認 (5分)
子どもの代表
◎ 「キラリ★子ども応援塾」の紹介をする。
◎ キラリ地区保協会の方と一緒にキラリ音頭を披露する。
◎ 終了後、キラリ地区保協会の方と一緒にふりかえり。
(スタッフ、達人、子ども)

地域の方
小学校

(子ども係取り配り)

◎ キラリ音頭をみながら踊って楽しめた?
◎ 達人と仲良く踊れた?
◎ 次は、おまつり大会があったら子ども応援塾へ来て欲しい?
①~③をきく!!

【各回の実施計画を立ててみよう!】

(B) グループ メンバー (小川さん 植田さん 藤原さん 熊川さん 三宅さん 森)

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

ようこそ達人!! 地域の文化を知ろう!!

○学習目標

地域の文化伝統を知り、地域交流の楽しさに気づく。

2 回・日時・場所

○回・日時

第1回	6月15日(土) 10時00分~ 11時30分
-----	-------------------------

○場所

パレット 公民館

3 講師, 指導者, 支援者

地域の方
(キラリ地区保存会) 10名

4 準備物

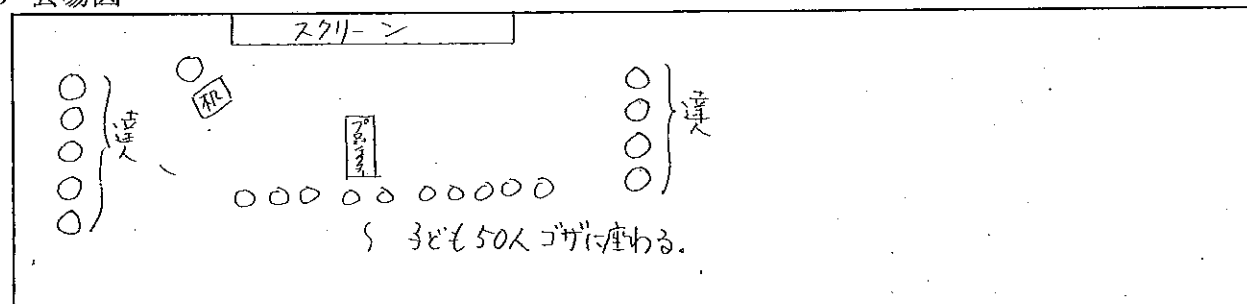
○参加者

筆記用具 飲み物

○主催者

昔の写真、ビデオ、資料 プロジェクター、PC、スクリーン、マイク

5 会場図



6 実施計画

時刻	内容	留意点
9:30	スタッフ集合、会場設置 受付	・名簿、長和(1)受付 スタッフ1名
10:00	◎開始 ◎オリエンテーション ・アイスブレイキングと自己紹介 (和歌は男団長を作る) ・講座の目的や目標、日程の説明がある	・司会説明、スタッフ1名 ・名札準備
10:15	◎地域の達人の話をする ・昔の写真やビデオを見る	・プロジェクター、ビデオデッキ、PC
11:00	◎休憩 (水分補給、トイレ)	・会場準備
11:05	◎達人にその場で実演をみせてもらう	・スタッフ1名が動画撮影
11:20	◎達人に質問の質問コーナー	
11:30	◎終了	・次回のお知らせ

学習プログラム開発をしよう

(C) グループ メンバー (塩出・藤井・杉野・久保・下川・西田)

テーマ **家庭教育支援**

市の概要
B

個人の要望

- ・生涯学習への参加者の裾野が高い。
- ・ついでが2人・情報も得たい
- ・まわりがみんな、仕事に忙しい時間がない
- ・レジャー・スポーツに力を入れている
- ・友達との遊び・自然・地域体験の促進
- ・困難を抱える親への支援 遊び場の充実
- ・男女共同参画 地域活動への活用

社会の要請

- ・地域の教育力向上
- ・地域ぐるみの安心・安全
- ・環境整備
- ・子育てサークル支援
- ・ネットワークづくり

地域課題

- ・共働き家庭が多い
- ・育児不安や悩みを抱えている
- ・子育て相談
- ・地域ぐるみでネットワークづくり

学習目的

いつでもどこでも気軽に話ができる
 1. レット市子育て支援 オリジナルネットワークづくり

学習目標

2. 気軽に集まる子育てサロンを企画し運営する活動を通い、地域交流の楽しさを体感する
1. 子育ての悩みを知ることで、現代の子育て世代の不安を理解する (子育て支援加ソー養成)

(C) グループメンバー (塩出・藤井・杉野・久保・川・西田)

1 学習目的

いつでもどこでも気軽に話べてくれるように
バレット市子育て支援オリジナルネットワークづくり

2 学習目標

- ・ 気軽に集まる子育てサロンを企画、運営の活動を通じ、
地域交流の楽しさを実感する
- ・ 子育ての悩みを知ることに伴って 現在の子育て世代の不安を理解する(子育て支援ネットワーク作成)

3 プログラム名

子育て応援"し"隊 ～ママの助けのまなび～

4 対象・定員

成人、20人

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

茶話会費用 100円×2回

6 事前に必要な知識や準備物

体力・意欲
模造紙・ポストイット・マーカー

7 留意点

暑気の時期(雨)の多いので、水分補給の注意を要する

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
① 6/19 (木) 13:30 ~ 15:00	地域の子育て事情 ~子育て世代 の声を聞く ~	◎ 地域の「子育て世代」とりまく環境。 考え方はどのように変化しているか 理解する。	地域の 子育て中の 保護者 (複数人)	虹色 公民館	アンケート
② 6/26 (木) 13:30 ~ 15:00	子育て世代の 声を聞くには	◎ 子育て世代から相談を受けた 時に、話を聴く時の心持 で、カウンセラーから聞く。 ・相談義務等も含めて。	子育て世代を よく知る 心理カウンセラー	虹色 公民館	アンケート
③ 7/3 (木) 13:30 ~ 15:00	「親の力を どう加わる」 プログラム 22 回をこなして 子育て環境の 変化を知る~	◎ 子育て環境の時代の変化を大目。 現代における子育て支援について 考える。 ・ファシリテーター紹介 ・アイスブレイク ・エピソードを読む ・考えを共有、お話し合い ・意見交換 ・振り返り	親子 ファシリテーター	虹色 公民館	アンケート
④ 7/10 (木) 13:30 ~ 15:00	子育て 応援隊 結成に向けて	◎ これからの振り返りとして。 子育て支援ボランティア「子育て応援隊」 の企画、運営に向けて、みんなで 何が出来るか考える。	余暇リーダー	虹色 公民館	参加申込書 (子育て応援隊) アンケート

【各回の実施計画を立ててみよう!】

(C) グループ メンバー (塩出, 下川, 藤井, 杉野, 久保, 西田)

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

子育て応援隊 結成に向けて

○学習目標

これまでの振り返りとして 子育て支援オリジナルネットワーク「子育て応援隊」の企画・運営に向けて、みんなに何ができるか考える。

2 回・日時・場所

○回・日時

第4回	7月10日(木)	13時30分～	15時00分
-----	----------	---------	--------

○場所

虹色公民館 1F 会議室

3 講師, 指導者, 支援者

余暇生活開発士

4 準備物

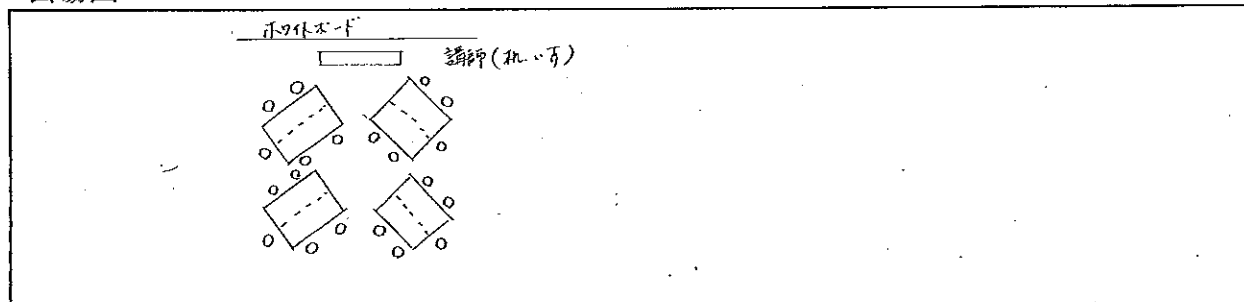
○参加者

筆記用具, 茶給金賞券

○主催者

講師料, 資料, 筆記用具, フォート(連絡先や〇〇の番号等) 他市の子育て支援の活動参考資料
 資料代, 名札, 茶給金賞券, 茶菓子(倉谷社), コピー用紙, 横道紙, 水筒, マジック, マーカー

5 会場図



6 実施計画

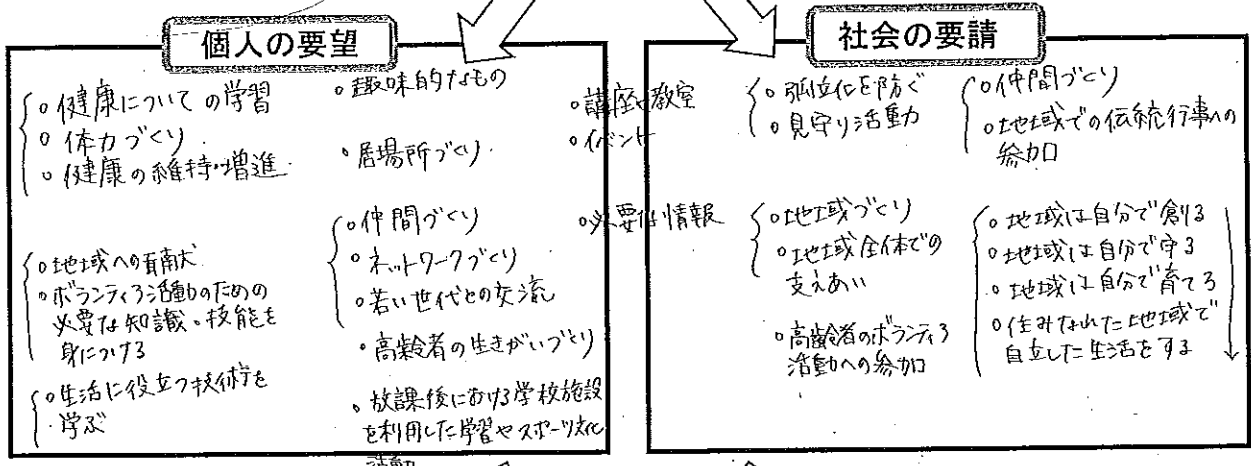
時刻	内容	留意点
13:15~	受付 (1階会議室) (前回のグループとは着席あり)	案内板, 名札(1), 受付名簿 受付 職員(1人)
13:30~	オリエンテーション ・ 本日の日程説明 ・ 講師紹介	司会, 説明 職員(1人)
13:40	グループ討議 ・ 何が必要か? ・ できることは何か? ・ 実施するにはどうすればいいか?	名茶, 名茶菓子/食パンから行う
14:10	グループ発表	
14:30	講師からのアドバイス	質疑応答も含む
14:50	アンケート記入	具体的な内容のアンケート用紙の準備

学習プログラム開発をしよう

(D) グループメンバー (神原, 小川, 山下, 小早川, 福田, 佐藤)

テーマ **高齢者教育**

市の概要 **A.**



地域課題

- 健康・体力の維持・増進
- 仲間づくり
- 居場所づくり
- 孤立化を防ぐ
- 組織づくり (車のばい人を集めるため)
- ボランティアの育成
- 趣味や生きがいをもつ

学習目的

- 高齢者の孤立を防ぐために、居場所を運営できる人材育成

学習目標

- コミュニケーション能力を身につけることにより、仲間づくりを推進できる人材育成
- 気軽に集まれる居場所を企画・運営の活動を通じ、地域交流の楽しさを実感する
- 企画・運営の方法を学習の機会をつくる

(D) グループ メンバー (神原, 小川, 山下, 小早川, 福田, 佐藤)

1 学習目的

・高齢者の孤立を防ぐために、居場所を運営できる人材育成

2 学習目標

- コミュニケーション能力を身につけることにより、仲間づくりを推進できる人材育成
- 気軽に集まる居場所を企画・運営する活動を通じ、地域交流の楽しさを実感する
- 企画・運営の方法を学習する機会をつくる

3 プログラム名

集まる、SUN Y-ダ - ~ 自分たちの地域を自分たちで支えよう ~

4 対象・定員

- 定員 20名 (ボランティアの会の方も含む)
- 対象 ^{おおむね}50才以上 男女とわかない

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

- 講師代・資料代等は市が準備
- お茶代・お菓子代、交通費は自費負担

6 事前に必要な知識や準備物

- 資料

7 留意点

- 休憩をとりながら学習する
- ふりかえりを茶話会と同時に行う。

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
2014年 10月2日 13:30 ~15:00	集まれ SUN4-7 ~聞き上手になろう~	◎ 居場所づくりに向け、コミュニケーション能力を高める ①オリエンテーション ・目的・目標、日程を知る ②講義(聞き上手になる方法をきく) ・預らぬ人になるように ③実践 ・2人で ・4人で ・3人スプレイング(ゲーム的なもの)	・相談員 ・心理カウンセラー	公民館	申請時に ・氏名・性別・年代 ・居住地をきく 茶話会で ・今回の感想・学習態度 ・実施に向けてきく ことをあげる ・記録をのこす
10月16日 13:30~15:00	集まれ SUN4-9 ~遊び上手になろう~	◎ 高齢者と楽しくできる運動や遊びを学び、身につける◎10年後の危機感を感じさせる 講演「10年後を見据えて」 ・我遊び ・歌 ・ワークショップ	・ミニマリスト ・保健師	公民館	茶話会 ・危機感を共有 ・記録をのこす
10月30日 13:30~15:00	集まれ SUN4-9 ~〇〇サロン見学会~	◎ 実際に運営しているサロンを見学し、運営方法を学ぶ ・見学・参加体験を可能 ・参加者の声をきく ・運営者の声をきく	・〇〇サロン 運営者	・〇〇サロン	3ンケートの実施 ・参加してみたいか? はい、いいえ ・よかた点、気が進まないか? はい、いいえ ・気が進まない理由を記入
11月13日 13:30~15:00	集まれ SUN4-9 ~サロン計画~	◎ 居場所づくりに向けた計画を立てる ・計画書作成のやり方を知る ・次回のおたのしみ会に向けた言語書を作る ・役割分担を決める	・〇〇サロン運営者 ・社協職員	公民館	茶話会 ・記録をのこす
11月27日 13:30~15:00	集まれ SUN4-9 ~サロン誕生~	◎ 居場所づくりのおたのしみ会と実践 ・おたのしみ会の実践 ・反省会 ・3ンケート収集	・〇〇サロン運営者 ・社協職員 ・地域の高齢者	公民館	3ンケート実施 ・講座の満足度 ・居場所づくりの運営を してみたいか

【各回の実施計画を立ててみよう!】

(D) グループ メンバー (神原, 小川, 山下, 小早川, 福田, 佐藤)

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

集まれ SUN-リーダー ~聴き上手になろう~

○学習目標

居場所づくりに向け、コミュニケーション能力を高める。

2 回・日時・場所

○回・日時

第1回	10月2日(木) 13時30分~ 15時00分
-----	-------------------------

○場所

公民館

3 講師, 指導者, 支援者

心理カウンセラー

4 準備物

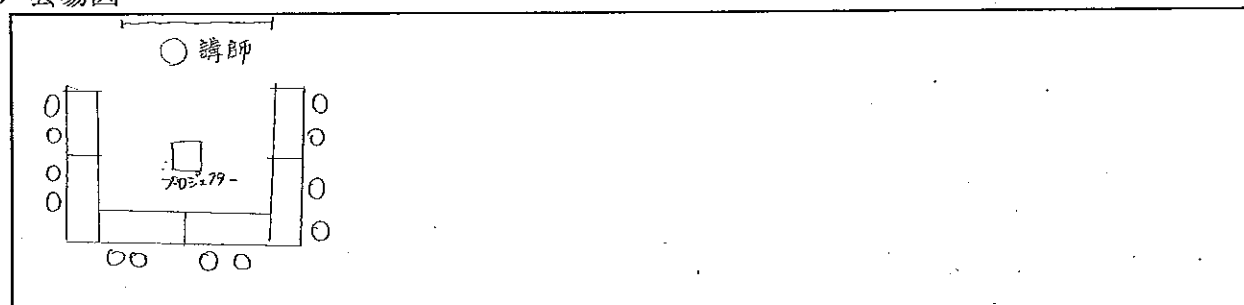
○参加者

筆記用具, 茶話会費(100円)

○主催者

資料, 茶菓子, お茶, プロジェクター, ホワイトボード, マジック, 案内表示, 名札, 名簿

5 会場図



6 実施計画

時刻	内容	留意点
11:00	会場セッティング	セッティング 職員全員 12:00~13:00 昼休憩
13:00~	受付 講師打ち合わせ	受付 職員(1名) 講師との打ち合わせ 職員(1名)
13:30~	主催者あいさつ オリエンテーション ・目的・目標と日程・内容の説明 ・当日の流れ	司会・説明 職員(1名)
13:40~	講師紹介 講演「聴き上手になるために」	
14:00~	休憩 (水分補給, トイレ)	
14:05~	演習 ・ 自己紹介 ・ 対 ・ グループトーク	
14:55~	次回の案内	
15:00~	茶話会 ・ ぶりかえり	主催者が感想等メモを残しておく
15:30	茶話会終了	